

3次元データで施工の一元管理を実現

内製化

データ共有

申請事業者：永野建設株式会社（日南市）
業種：建設業

コンサル事業者：株式会社久永 宮崎支店
業種：情報サービス・測量機器



3次元計測技術内製化+データ共有プロセス構築で、遠隔加工を可能に！

取組の概要

導入部門：工務部

導入業務：計測業務、工程検査業務

導入目的：計測・工程検査時間の短縮と精度向上のため

導入技術：3次元レーザースキャナー「GLS-2200」

データ解析ソフト「MAGNET Collage」「MAGNET Collage Web」
インタラクティブボード「MAXHUB」

導入手法：地上型レーザースキャナを用いて新たな3次元計測プロセスを導入し、クラウド対応型データ解析ソフトで遠隔での3次元データ共有・加工を実現。

導入費用：¥9,370千円（税抜）

（コンサル費用 ¥400千円、導入・他 ¥8,970千円）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ・自然環境等により常に変化する現場であるが、3次元計測を外注していたため、リアルタイムでの計測ができていなかった。
- ・施工中や完了後の確認には立ち会いが必要なため、現地までの移動に時間を要していた。

●解決に向けた課題設定等

- ・3次元レーザースキャナーの導入より、計測プロセスを内製化することで、リアルタイム計測を実現。
- ・クラウド対応型データ解析ソフトの導入により、監督職員や検査職員の遠隔確認が可能となり、移動コストを削減。

取組の成果

- ①計測作業の効率化：施工面積200㎡あたり計測時間約29%削減
（現状24分⇒導入後17分）
計測時間の短縮+広範囲・高密度の計測で精度向上
- ②計測作業の安全対策：計測作業リスク最大75%削減
（最大4名体制⇒1名体制）
危険源の多い場所での計測人員削減
- ③立会時のコスト削減：職員の移動時間100%削減
（立会確認 現状5回⇒実施後0回）
職員移動に伴うリスク・コストを削減